

お盆・夏休みの感染拡大防止について

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

市民の皆様におかれましては、日頃から新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて、お一人おひとりが対策を講じていただいておりますことに対し、心から御礼申し上げます。

島の限られた医療体制は関係者の皆様の懸命なご努力により維持されておりますが、本市内での連続した感染の確認を中心に、ひっ迫の度合いは日に日に高まっている状況です。

新型コロナにより、通常の医療にも影響を及ぼすような事態は、絶対に避けなければなりません。島の限られた医療体制を守るためには、皆様お一人おひとりの心がけとご理解・ご協力が必要です。

新型コロナウイルスワクチンの接種を終えても、PCR検査で陰性となって帰省した場合においても、感染を100%防げるということではありません。いつもどおりの感染防止対策をお願いいたします。

これから旧暦のお盆を迎え、夏休みも終盤となる中、皆様への具体的なお願いとして、4点申し上げます。

(特に帰省者がいる場合や、高齢者を訪問する場合)

- 1 お盆期間中のあいさつ回りは極力自粛くださるようお願いいたします。なお、どうしても必要な場合には「あいさつは玄関先で」を徹底してください。
- 2 ご自宅や屋外であっても、普段生活を同じくする家族以外との大人数での会合はお控えください。

(全ての皆様への日常生活の中での心がけについて)

- 3 「マスクはすき間なく着用」し、「手洗い・消毒」、「いつも以上の換気」を徹底しましょう。
- 4 体調が悪いときには外出はせず、ためらわずにかかりつけ医か、受診・相談センター（0997-52-5411）へ相談しましょう

「島の医療体制を」、そして大切なご家族・友人・職場を守るため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年8月16日

奄美市長 朝山 毅